

## NHK 朝ドラ「ばけばけ」が制作意欲を掻き立てた

森下伍朗

定年後、時間つぶしで始めた水墨画は、いつの間にか20年を超え人生の楽しみとなり、水墨画の先生の引率による中国の世界文化、自然遺産巡りは17か所を終え、まだ40数か所踏破していない。

今年に入り「台湾有事発言」で中国の嫌がらせは日々大きくなり留まる場所を知らない。  
連日のニュースは旅の記憶を鮮明に呼び起こした。

2012年9月日本政府による「尖閣諸島国有化」発表により、中国の反発は凄まじく、すぐに中国系航空会社は運行を停止した。我々は JAL での出航で上海、蘇州、中国人が最も登りたい山、黄山、杭州の西湖等世界遺産を巡る旅を楽しむ計画であった。

黄山を降り杭州への高速道路では、日本車のマークにはシールが貼られて隠され、日本製品不買の横断幕が、目に飛び込んできた。

中国の政財界人の別荘地、西湖の博物館では多くの人が地球儀の周りを取り囲み日本、尖閣諸島を叩きその部分が、つるつるになっていた。

先生は日本語での会話、写真撮影を禁止したが、まだ身に危険は感じないまま上海経由で帰国した。  
驚いたことに帰国すると、TVは中国での日系スーパーマーケットでの略奪、自動車販売店の焼き討ち等が放映され、凄まじい反日運動が繰り広げられていた。

この楽しみが突然終了したのが2019年10月、西安、兵馬俑、

敦煌莫高窟の仏教文化、砂漠のオアシス月牙泉でラクダに揺られ、更にシルクロードを西に進み、関所の一つである玉門関まで足を延ばし、帰路北京に入り、頤和園、北京ダックを食し、予約したホテルのある天安門広場が、急遽閉鎖され清華大学近くの格下ホテルに変更されたのも旅の思い出である。

後で知ることになるが、台湾の学生運動の影響を恐れての閉鎖のようだった。

この2ヵ月後、世界を震撼させたコロナ禍は、全てを委縮する生活を余儀なくし一時展覧会も中止された。

未だ中国の世界遺産を巡る旅は再開していない。

私のもう一つの楽しみは京都にいる友人を訪ねて、関西地区の名所旧跡を旅する楽しみが有る。

歴史を感じる街並みや神社、仏閣、季節ごとに変わる風情が、楽しめる。

京都、奈良の寺院、比叡山、高野山等、四季折々に行われるお祭りにも出かけ、絵の題材を探すが、あまりの美しさに私の腕では描き切れない。

最近の展覧会には中国の山水画に代わり、京都祇園白川、先斗町、二年坂、貴船、比叡山、高野山の宿坊、奈良室生寺等を出展したが満足のいく作品は出来ない。

さて、今年は何を描こうかと思い悩んでいたところ昨年始まったNHK朝ドラ「ばけばけ」は私の故郷松江が舞台で、毎朝子供の頃遊び回った場所が、画面に映し出され急に松江を題材にしようと思い立った。

城山(松江城)、ヘルン旧居、武家屋敷、月照寺、松江大橋、宍道湖、堀川、普門院、八重垣神社等、幽霊、妖怪など超自然現象に関する民話が、語り継がれている町である。

私は小学生の頃、通学時普門院前の橋を通る時、歌って渡ると死ぬと言われ無言で、走って通学した思い出がある。

小泉八雲の怪談「小豆とぎ橋」に語られている。

再来年は母校である松江高校／旧制松江中学の創立150年式典が挙行される。

体力が許せば久しぶりに帰省し思い出の地を巡りたい。



20号 京都祇園白川の春



30号 女高野室生寺

以上